

# 平成30年度 事業報告書

大慈智音園ショートステイ

## 1. <基本方針>

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的、身体的な援助を行う。又、居宅における生活と利用時の生活が継続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるサービスを提供する。

## 2. <最終目標>

心・和み・笑顔 ～私達が将来入居したい施設を目指します～

「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」

- ・全ての人々の心を大切にします
- ・全ての人々の和を大切にします
- ・全ての人々が笑顔になれる場所にします

## 3. <部門別重点目標>

<ケア部門>

### ① ご自宅での生活リズムに合わせたサービスの提供

定期利用者の24時間シートを作成し情報を共有することができた。ご自宅での様子をアセスメントしご家族や介護支援専門員からの情報も得ることで、サービスの提供がスムーズに行うことができた。新規利用者の定期利用希望も多くできるだけご希望に添えるよう調整を行った。

### ② レクリエーション活動の充実

ロング利用者対象に外出行事の企画、お花見や初詣を実施する。また日頃より散歩の時間を作ることで運動の機会や気分転換を図った。ゲームで使用する物品を一緒に作り、自分たちで作ったもので遊ぶ時間は失敗や成功もあり、笑う時間が増えることとなった。体操を日替わりに行う事で雰囲気を変え、個々に合わせたレクリエーションを検討し実施することができた。

### ③ 遠藤メソッドへの取り組み

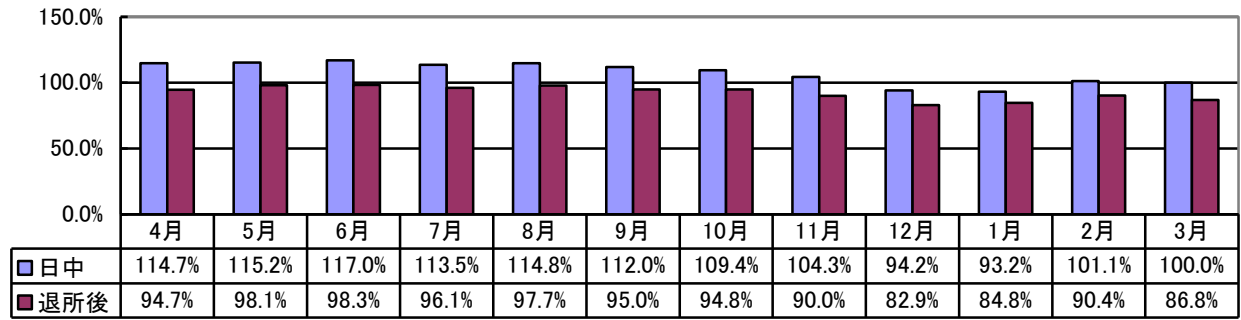
大慈智音園同様

## 4. <経営部門>

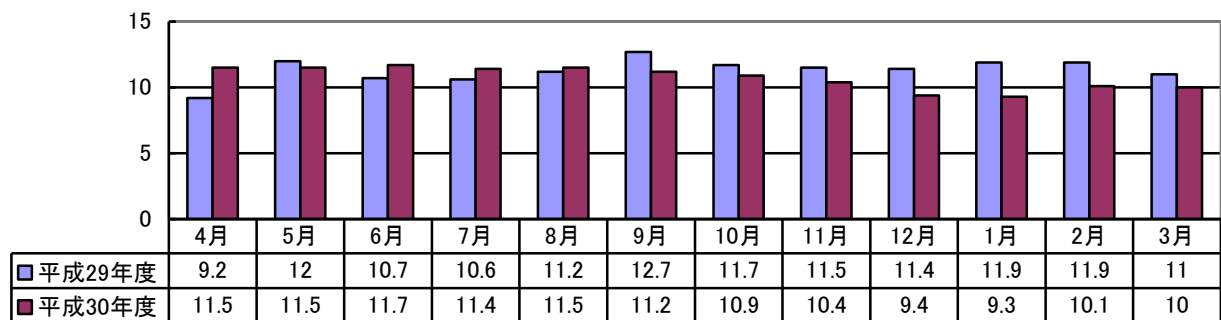
### ① 充足率の向上(目標：充足率97%)

12月から2月にかけてインフルエンザや胃腸炎が流行したことで、利用のキャンセルが多々みられた。ロングショートから入居になることで空床も出るが、新規利用者獲得のため情報の公開や緊急ショートを受け入れ、特養の空床利用を行う事で目標の充足率は達成することが出来る。

●充足率→日中107.4%、退所後92.5%  
 (前年平均 日中113.1%、退所後96.5%)



●平均人数→日中10.7人  
 (前年度平均 日中11.3人)



●介護度別年齢別等人数表 (平成31年3月31日時点での実人数)

| 要介護度  | 平成29年度 |       |       |       | 平成30年度 |       |       |       |
|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
|       | 合計人数   | 男     | 女     | 平均    | 合計人数   | 男     | 女     | 平均    |
| 支援1   | 0      | 0     | 0     |       | 1      |       | 1     | 93歳   |
| 支援2   | 5      | 1     | 4     | 85.6歳 | 1      |       | 1     | 91歳   |
| 1     | 15     | 9     | 6     | 87.6歳 | 4      | 2     | 2     | 87歳   |
| 2     | 30     | 8     | 22    | 86.6歳 | 8      | 3     | 5     | 87.5歳 |
| 3     | 22     | 6     | 16    | 86.5歳 | 22     | 5     | 17    | 87.5歳 |
| 4     | 22     | 7     | 15    | 85.5歳 | 16     | 5     | 11    | 85.4歳 |
| 5     | 21     | 11    | 10    | 76.6歳 | 10     | 3     | 7     | 82.5歳 |
| 合計    | 115    | 42    | 73    |       | 62     | 18    | 44    |       |
| 平均介護度 |        | 3.0   | 2.8   | 2.9   |        | 3.2   | 3.2   | 3.2   |
| 平均年齢  |        | 79.9歳 | 87.3歳 | 84.7歳 |        | 93.4歳 | 89.5歳 | 87.6歳 |
| 最高年齢  |        | 94歳   | 100歳  |       |        | 98歳   | 100歳  |       |
| 最低年齢  |        | 54歳   | 55歳   |       |        | 55歳   | 72歳   |       |

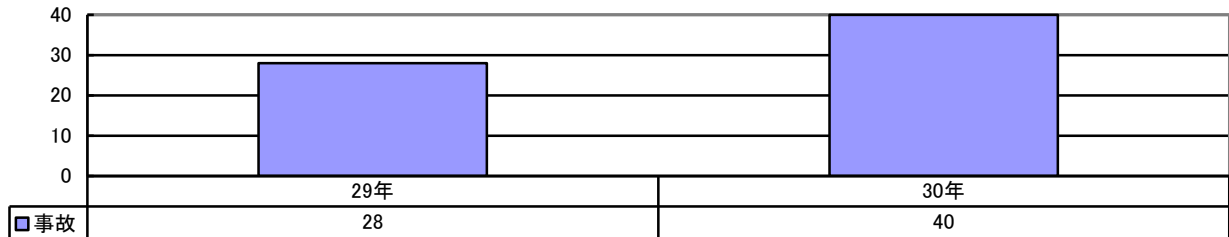
5. 《年間行事・行事食予定》  
 6. 《職員会議・OFF-JT》
- } 大慈智音園同様

## 7. 《リスクマネジメント報告》

☆事故の定義・・・膝が地面に接地した時点で事故とみなす。

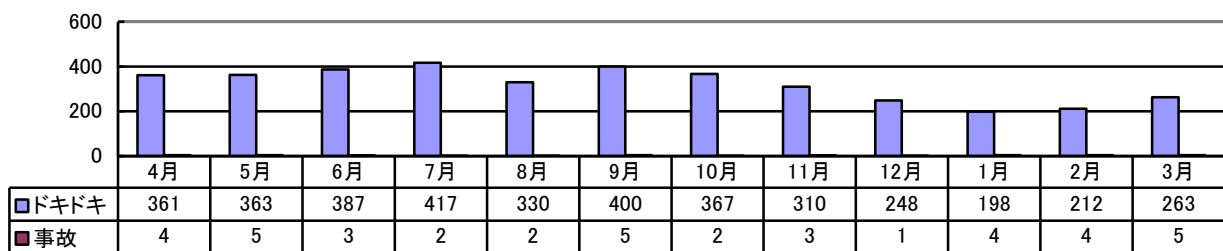
### ①報告件数

年度別事故件数



| 平成 29 年度 |         |      |         | 平成 30 年度 |         |      |         |
|----------|---------|------|---------|----------|---------|------|---------|
| 報告件数     | 合計件数    | 事故   | ドキドキ    | 報告件数     | 合計件数    | 事故   | ドキドキ    |
|          | 3,144 件 | 28 件 | 3,116 件 |          | 3,896 件 | 40 件 | 3,856 件 |

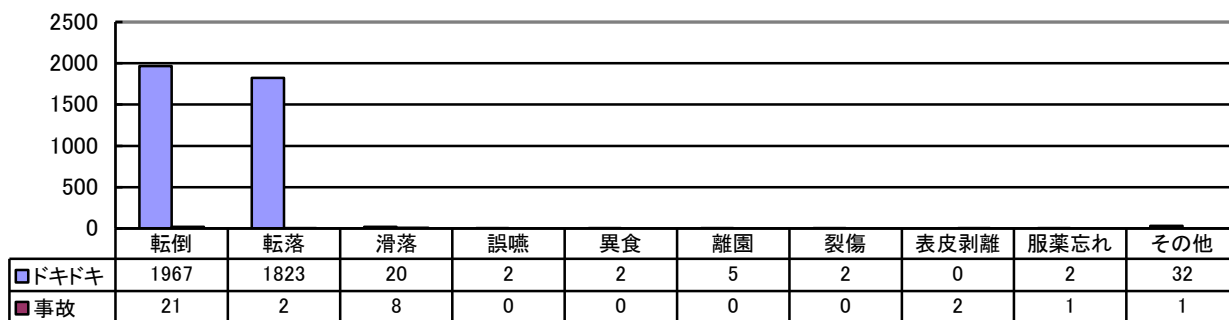
月別件数



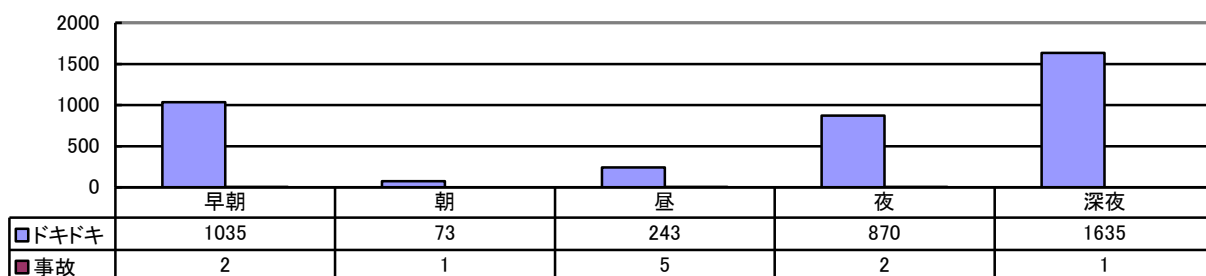
### ②発生場所別件数



### ③発生内容別件数



### ④時間帯別件数



### ●まとめ

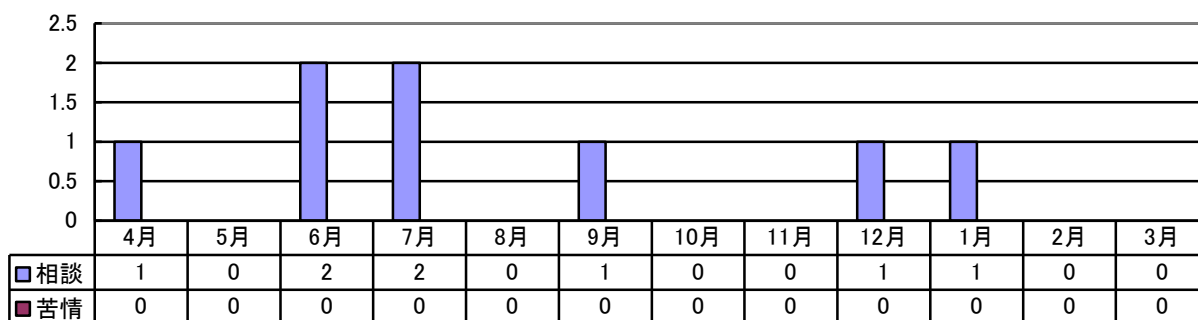
転倒事故の件数が他の事故と比べ、圧倒的に多く、歩行は可能ではあるが、リスクの高い方の利用が多いことが分かる。夜間のセンサー反応数が増えてはいるものの事故は少ないことから、夜間のリスクコントロールは出来ていると言える。今後、ドキドキ報告を活かせる方法を模索する必要がある。

## 8. 《苦情・相談結果報告》

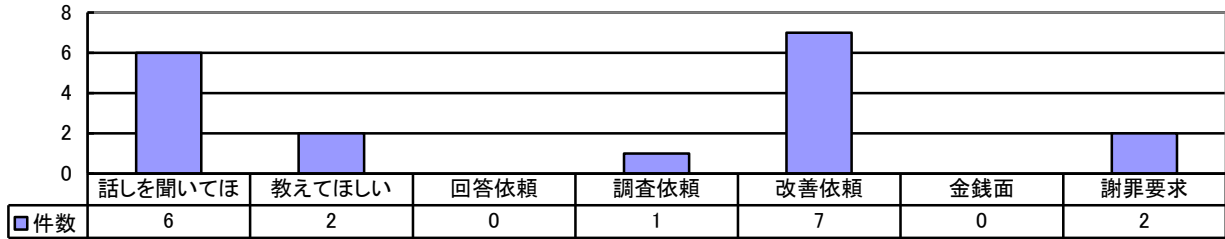
苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

### ○報告件数

| 報告件数 | 29年度 |    |     | 30年度 |      |    |    |
|------|------|----|-----|------|------|----|----|
|      | 合計件数 | 苦情 | 相談  | 報告件数 | 合計件数 | 苦情 | 相談 |
|      | 16件  | 0件 | 16件 |      | 8件   | 0件 | 8件 |



要望分類



※複数回答しているため件数が多い。

○主な内容

ご本人の意向とご家族の意向の違い、お体の状態の変化による相談もあり、ケアマネジャーと調整することがあった。その他は、職員とご家族の情報共有不足が多くみられた。

○まとめ

食事も美味しく、レクリエーションも活発に行っているため、定期利用者の継続利用が多かった。ご自宅で行っていることを継続できる支援を目標に、それに近づけるサービスを提供できた、ご家族との情報交換を密に行ったため、大きな苦情には繋がることはなかった。

9. 《総括》

開設から4年たつことで、安定したサービスの提供ができ、レクリエーションが充実してきた。在宅の介護支援専門員からレクリエーションの内容の問い合わせなど、何度も頂くこともあった。

特養との情報交換を密に行い連携することで、緊急時の対応や空床の利用が出来目標に近づけることができる。またいつでも緊急ショートが利用できる体制は整えている。引き続き、レクリエーションにも力を入れながら、ショートの利用が楽しみに繋がることで、ご家族の介護負担を軽減できるよう努めていく。

今年度は、定期利用者が数名、体調を崩される、特養の入所になるなどで、目標値には届かなかったが、日頃より、空き状況などを他事業所に発信し新規利用者獲得に努める。